

インターロッキングブロックを用いた歩道の整備と駅前公園における本郷焼の陶器タイルを用いた美観整備を行った結果、新築される建物に意匠、材質に工夫を凝らすなど、市民の“まちづくり”への自主的な活動が生まれた。



会津若松市は、歴史と伝統の香りを色濃く残した福島県西部の会津地方に位置し、同地方の産業、経済、行政、教育の中核都市として、また日常生活の中心となっている。とりわけ大町地区は、漆器製造販売



データボード⑥5

- ① 福島県会津若松市大町
- ② 会津若松市役所 ☎0242-28-1111
- ③ 市道幹Ⅰ-17号(歩道)延長80m、幅員4.9m 市道幹Ⅱ-10号(歩道)延長75m、幅員2.5~3m 市道3-10号(歩道)延長80m、幅員6m
- ④ 本郷焼陶器タイル等
- ⑤ 大町通り歩行者天国、十日市、会津まつり春まつり

業を中心とした伝統産業区域であることから、大町通りの整備にあたってはその歴史と伝統を生かしてインターロッキングブロックによる舗装や地域の代表的焼物である本郷焼の陶器タイルを用いた歩道の整備を行っている。こうした道路整備により、この地区に新たに建築される建物も、意匠、色彩、材質等に地区の歴史、伝統にマッチした工夫が凝らされるなど、道路と沿道とが一体化した街づくりが進められている。